

2015年11月27日

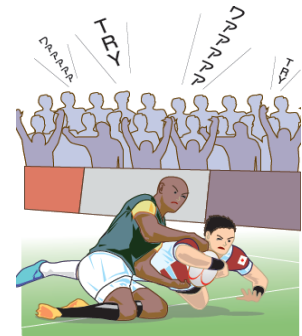
～第1位は、「ラグビーWカップにおける日本代表選手の歓喜の雄たけびや拍手・歓声」～

2015年「心に残った音」調査報告書

リオン株式会社

リオン株式会社(社長:清水健一、本社:東京都国分寺市、東証1部 コード:6823)では、2015年「心に残った音」調査を実施しましたのでご報告します。

日常生活の中には、炊事・洗濯などの家庭での音をはじめ、街中での自動車や信号などの音、自然界の音、テレビ・ラジオなどから流れる音、パソコンや電子機器からの音など様々な『音』が存在しています。また、多くの方々が毎年、その年を象徴する印象深い音を共有しています。今回、当社では音を科学する企業として、2015年「心に残った音」について調査を実施しました。



対象とした音は、注意喚起音、自然音、歓声、人工音、機械音、ニュース報道の一部(声)、テレビ番組やテレビCMの効果音などです。当社内の選考委員会にて候補となる『音』(10個)を選定。一般の方1,000名に、その10音のうち、2015年の「心に残った音」を複数回答で質問しました。また、その他(候補の10音以外)の「心に残った音」と理由をフリーアンサーで記載していただきました。なお、当社では2011年に同調査を初めて実施し、今年で5回目を迎え、今後も毎年継続的に実施していく予定です。

※本調査では、流行歌や流行語、テレビCMなどでの企業名・商品名などは対象外としています。

- ・調査時期:2015年11月上旬 調査方法:インターネットを通じて実施
- ・有効回答:1,000名(20歳以上の男女各500名)

【調査結果の要約】

●2015年心に残った音の第1位は、

「ラグビーWカップにおける日本代表選手の歓喜の雄たけびや拍手・歓声」

2015年9月、イングランドで開催されたラグビーワールドカップにおいて、24年ぶりとなる歴史的勝利を飾ったラグビー日本代表チーム。その活躍に日本中で歓声があがりました。「ラグビーWカップにおける日本代表選手の歓喜の雄たけびや拍手・歓声」(42.6%)が第1位となりました。また、第8位には「体操世界選手権で団体優勝した時の日本代表チームへの歓声」(17.9%)がランクインし、こちらも37年ぶりの団体優勝と、日本代表選手の快挙が目立つ1年となりました。

●第2位は、「大型台風や豪雨などの暴風雨の音」

2015年は各地で大型台風や豪雨に見舞われた年であったことから、「大型台風や豪雨などの暴風雨の音」(37.8%)が第2位となりました。多くの人々の通勤・通学に影響を及ぼし、川の氾濫などの被害を引き起こした暴風雨の音が、強く印象に残ります。



●「安保法案に関する国会内での喧噪・怒号」が第3位

安全保障関連法案の採決をめぐる与野党の対立は記憶に新しく、「安保法案に関する国会内での喧噪・怒号」(31.3%)が第3位となりました。



●「国会前のデモにおけるシュプレヒコール」が第4位

安保法案に対するデモでは多くの若者の姿が見られ、彼らによるラップ調のシュプレヒコールも話題となりました。「国会前のデモにおけるシュプレヒコール」(29.0%)が第4位となりました。



●「連日のノーベル賞受賞者におくられた拍手」が第5位

2015年10月5日、翌6日、日本人の連日受賞に国内外から称賛の声が寄せられました。第5位は、「連日のノーベル賞受賞者におくられた拍手」(22.7%)となりました。



●「大物芸能人の結婚報道に対する女性の悲鳴」が第6位

2015年は芸能人の結婚報道が相次ぎ、「大物芸能人の結婚報道に対する女性の悲鳴」(18.8%)が第6位となりました。会社を早退・欠勤してしまうなど、多くの女性たちがショックをうける姿が連日報道され、大きな話題を呼びました。

●「夏の甲子園で活躍した高校球児への声援」が第7位

「夏の甲子園で活躍した高校球児への声援」(18.4%)が第7位となりました。将来を期待させる高校球児たちの活躍に注目が集まりました。

●「終戦70周年、各地で行われた黙とう時の静寂」が第9位

終戦70周年を迎えた2015年8月、各地で黙とうが捧げられ、報道でも大きく取り上げられました。「終戦70周年、各地で行われた黙とう時の静寂」(16.4%)が第9位となりました。

●「訪日した多くの外国人観光客が話す各国の言葉」が第9位

過去最高の訪日外客数を記録した今年上半期、あちらこちらで各国の言葉を耳にしました。「訪日した多くの外国人観光客が話す各国の言葉」(16.4%)が第9位となりました。



●その他の回答

- MRJのファーストフライトのエンジン音(男性、55歳、山梨県在住)
…約50年ぶりの国産旅客機への期待
- 浅田真央さん復活の喜びの声(女性、65歳、千葉県在住)
…1年間の休養後の嬉しい声で元気をもらったから
- 渋谷のハロウインの喧噪(女性、33歳、富山県在住)
…テレビで見て騒がしかったから

【TOPICS】 2015年は男女間の差が見られる結果に！

●第1位「ラグビーWカップにおける日本代表選手の歓喜の雄たけびや拍手・歓声」は、男性が多い男女ともに順位は1位でしたが、特に男性の関心の高さがうかがえる結果となっています。男性46.2%、女性39.0%と、その差は7.2ポイントとなりました。

性別	比率(実数)	順位	
全体	42.6% (426)	1位	n=1,000
男性	46.2% (231)	1位	n=500
女性	39.0% (195)	1位	n=500

●第6位「大物芸能人の結婚報道に対する女性の悲鳴」は、男性10位、女性5位全体の順位は6位となりましたが、男女間で比較してみると大きな差が見られます。男性は13.6%で第10位、女性は24.0%で第5位と、その差は10.4ポイントにも達しました。女性の注目度の高さが目立ちました。

性別	比率(実数)	順位	
全体	18.8% (188)	6位	n=1,000
男性	13.6% (68)	10位	n=500
女性	24.0% (120)	5位	n=500

【2015年「心に残った音」調査の詳細】

Q. 2015年あなたの心に残った音をいくつでもお選び下さい。 ※複数回答

		全国	東エリア	西エリア
1	ラグビーWカップにおける日本代表選手の歓喜の雄たけびや拍手・歓声	42.6%	42.5%	42.7%
2	大型台風や豪雨などの暴風雨の音	37.8%	39.0%	36.4%
3	安保法案に関する国会内での喧噪・怒号	31.3%	33.0%	29.5%
4	国会前のデモにおけるシュプレヒコール	29.0%	30.9%	26.9%
5	連日のノーベル賞受賞者におくられた拍手	22.7%	20.8%	24.8%
6	大物芸能人の結婚報道に対する女性の悲鳴	18.8%	17.5%	20.2%
7	夏の甲子園で活躍した高校球児への声援	18.4%	20.2%	16.4%
8	体操世界選手権で団体優勝した時の日本代表チームへの歓声	17.9%	18.5%	17.3%
9	終戦70周年、各地で行われた黙とう時の静寂	16.4%	16.6%	16.2%
9	訪日した多くの外国人観光客が話す各国の言葉	16.4%	15.8%	17.1%

※全体 N=1,000

東エリア(北海道、東北、関東) N=525 西エリア(中部・近畿・中四国・九州) N=475

第1位 ラグビーWカップにおける日本代表選手の歓喜の雄たけびや拍手・歓声(42.6%)

「ラグビーWカップにおける日本代表選手の歓喜の雄たけびや拍手・歓声」がトップとなりました。東エリア、西エリアともに4割以上の回答者が選んでおり、その注目度の高さがうかがえます。

地域	比率(実数)	順位	
全国	42.6%(426)	1位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	42.5%(223)	1位	n=525
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	42.7%(203)	1位	n=475

第2位 大型台風や豪雨などの暴風雨の音(37.8%)

全国的に台風や豪雨に見舞われた今年、第2位には暴風雨の音が選ばれました。東西で比較すると、東エリアが3.4ポイント高くなっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	37.8%(378)	2位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	39.0%(205)	2位	n=525
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	36.4%(173)	2位	n=475

第3位 安保法案に関する国会内での喧噪・怒号(31.3%)

第3位は、「安保法案に関する国会内での喧噪・怒号」となりました。東エリアのほうが3.5ポイント高くなっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	31.3%(313)	3位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	33.0%(173)	3位	n=525
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	29.5%(140)	3位	n=475

第4位 国会前のデモにおけるシュプレヒコール(29.0%)

若者のラップ調のものが印象的だった、「国会前のデモにおけるシュプレヒコール」が第4位となりました。東エリアのほうが4.0ポイント高くなっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	20.9%(209)	4位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	30.9%(162)	4位	n=525
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	26.9%(128)	4位	n=475

第5位 連日のノーベル賞受賞者におくられた拍手(22.7%)

第5位は「連日のノーベル賞受賞者におくられた拍手」(22.7%)となりました。

地域	比率(実数)	順位	
全国	22.7%(227)	5位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	20.8%(109)	5位	n=525
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	24.8%(118)	5位	n=475

第6位 大物芸能人の結婚報道に対する女性の悲鳴(18.8%)

第6位は「大物芸能人の結婚報道に対する女性の悲鳴」となりました。東西を比較すると、西エリアが20.2%と、東エリアよりも2.7ポイント高くなっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	18.8%(188)	6位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	17.5%(92)	8位	n=525
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	20.2%(96)	6位	n=475

第7位 夏の甲子園で活躍した高校球児への声援(18.4%)

第7位には「夏の甲子園で活躍した高校球児への声援」が選ばれました。東エリアが20.2%で6位、西エリアが16.4%で8位と、東エリアが高くなっています。

地域	比率(実数)	順位	
全国	18.4%(184)	7位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	20.2%(106)	6位	n=525
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	16.4%(78)	8位	n=475

第8位 体操世界選手権で団体優勝した時の日本代表チームへの歓声(17.9%)

「体操世界選手権で団体優勝した時の日本代表チームへの歓声」が第8位となりました。

地域	比率(実数)	順位	
全国	17.9%(179)	8位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	18.5%(97)	7位	n=525
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	17.3%(82)	7位	n=475

第9位 終戦70周年、各地で行われた黙とう時の静寂(16.4%)

第9位は、「終戦70周年、各地で行われた黙とう時の静寂」となりました。

地域	比率(実数)	順位	
全国	16.4%(164)	9位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	16.6%(87)	9位	n=525
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	16.2%(77)	10位	n=475

第9位 訪日した多くの外国人観光客が話す各国の言葉(16.4%)

「訪日した多くの外国人観光客が話す各国の言葉」が、「終戦70周年、各地で行われた黙とう時の静寂」と同率の9位となりました。

地域	比率(実数)	順位	
全国	16.4%(164)	9位	n=1,000
東エリア(北海道・東北・関東)	15.8%(83)	10位	n=525
西エリア(中部・近畿・中四国・九州)	17.1%(81)	9位	n=475

【エリア別の2015年「心に残った音」】

●全国 n=1,000 ※複数回答

		実数	比率
1	ラグビーWカップにおける日本代表選手の歓喜の雄たけびや拍手・歓声	426	42.6%
2	大型台風や豪雨などの暴風雨の音	378	37.8%
3	安保法案に関する国会内での喧噪・怒号の音	313	31.3%
4	国会前のデモにおけるシュプレヒコール	290	29.0%
5	連日のノーベル賞受賞者におくられた拍手	227	22.7%
6	大物芸能人の結婚報道に対する女性の悲鳴	188	18.8%
7	夏の甲子園で活躍した高校球児への声援	184	18.4%
8	体操世界選手権で団体優勝した時の日本代表チームへの歓声	179	17.9%
9	終戦70周年、各地で行われた黙とう時の静寂	164	16.4%
9	訪日した多くの外国人観光客が話す各国の言葉	164	16.4%

●東エリア(北海道、東北、関東) n=525 ※複数回答

		実数	比率
1	ラグビーWカップにおける日本代表選手の歓喜の雄たけびや拍手・歓声	223	42.5%
2	大型台風や豪雨などの暴風雨の音	205	39.0%
3	安保法案に関する国会内での喧噪・怒号	173	33.0%
4	国会前のデモにおけるシュプレヒコール	162	30.9%
5	連日のノーベル賞受賞者におくられた拍手	109	20.8%
6	大物芸能人の結婚報道に対する女性の悲鳴	92	17.5%
7	夏の甲子園で活躍した高校球児への声援	106	20.2%
8	体操世界選手権で団体優勝した時の日本代表チームへの歓声	97	18.5%
9	終戦70周年、各地で行われた黙とう時の静寂	87	16.6%
9	訪日した多くの外国人観光客が話す各国の言葉	83	15.8%

●西エリア(中部・近畿・中四国・九州) n=475 ※複数回答

		実数	比率
1	ラグビーWカップにおける日本代表選手の歓喜の雄たけびや拍手・歓声	203	42.7%
2	大型台風や豪雨などの暴風雨の音	173	36.4%
3	安保法案に関する国会内での喧噪・怒号	140	29.5%
4	国会前のデモにおけるシュプレヒコール	128	26.9%
5	連日のノーベル賞受賞者におくられた拍手	118	24.8%
6	大物芸能人の結婚報道に対する女性の悲鳴	96	20.2%
7	夏の甲子園で活躍した高校球児への声援	78	16.4%
8	体操世界選手権で団体優勝した時の日本代表チームへの歓声	82	17.3%
9	終戦70周年、各地で行われた黙とう時の静寂	77	16.2%
9	訪日した多くの外国人観光客が話す各国の言葉	81	17.1%

【男女別の集計】

		全体	男性	女性
1	ラグビーWカップにおける日本代表選手の歓喜の雄たけびや拍手・歓声	42.6%	46.2%	39.0%
2	大型台風や豪雨などの暴風雨の音	37.8%	37.2%	38.4%
3	安保法案に関する国会内での喧噪・怒号	31.3%	34.6%	28.0%
4	国会前のデモにおけるシュプレヒコール	29.0%	32.8%	25.2%
5	連日のノーベル賞受賞者におくられた拍手	22.7%	22.8%	22.6%
6	大物芸能人の結婚報道に対する女性の悲鳴	18.8%	13.6%	24.0%
7	夏の甲子園で活躍した高校球児への声援	18.4%	17.8%	19.0%
8	体操世界選手権で団体優勝した時の日本代表チームへの歓声	17.9%	15.0%	20.8%
9	終戦70周年、各地で行われた黙とう時の静寂	16.4%	14.4%	18.4%
9	訪日した多くの外国人観光客が話す各国の言葉	16.4%	17.0%	15.8%

【調査概要】

- ・調査時期 2015年11月上旬
- ・調査方法 インターネットを通じて実施
- ・有効回答 1,000名(20歳以上の男女各500名)

	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500
計	200	200	200	200	200	1,000

- ・調査地域 全国

東エリア	北海道	東北	関東	計	計
	53	53	419	525	
西エリア	中部	近畿	中四国	九州	計
	137	210	57	71	

○本件に関するお問合せ先○

報道関係者 リオン株式会社 IR広報部 担当：仙波、矢嶋
 TEL:042-359-7830 FAX:042-359-7447

《参考》

●2011年心に残った音 全国 n=1,000 (複数回答)

		実数	比率
1	ACジャパンの公共広告「あいさつの魔法」内で「(楽しい仲間が)ポポポポ〜ン」	611	61.1%
2	ACジャパンの公共広告の最後「エーシー」	589	58.9%
3	テレビの緊急地震速報のチャイム「チャンチャン・チャンチャン」	561	56.1%
4	携帯電話の緊急地震速報の音「ヴィー・ヴィー・ヴィー」	287	28.7%
5	なでしこジャパンの優勝決定の瞬間「スタジアムの歓声 WO!WA!」	261	26.1%
6	東日本大震災発生時の建物のきしむ音	181	18.1%
7	「家政婦のミタ」イントロシーンの効果音「ファンファ〜ン・ファンファ〜ン…」	157	15.7%
8	大型台風(12号や15号など)による暴風雨の音	77	7.7%
9	アナログ放送終了のカウントダウン「…5. 4. 3. 2. 1.」	42	4.2%
10	夏の節電対策で使った扇風機の音	37	3.7%

●2012年心に残った音 全国 n=1,000 (複数回答)

		実数	比率
1	ロンドン五輪、日本選手のメダル獲得や活躍時の実況音声	445	44.5%
2	金環日食の時の街の歓声やどよめき	307	30.7%
3	大型台風やゲリラ豪雨による暴風雨の音	294	29.4%
4	2012.3.11の地震発生時刻に合わせた黙とう時の静寂	250	25.0%
5	ロンドン五輪、メダリストパレード時の群集の歓声	233	23.3%
6	ロンドン五輪、テレビの前で応援する家族・仲間・自分の声	222	22.2%
7	衆議院解散時の万歳三唱	160	16.0%
8	自粛から復活した花火大会での打上花火の音	152	15.2%
9	様々なデモにおける群集のシュプレヒコール	150	15.0%
10	巨人が日本一になった時のスタジアムの歓喜の声	101	10.1%

●2013年心に残った音 全国 n=1,000 (複数回答)

		実数	比率
1	2020年東京五輪決定の瞬間	513	51.3%
2	日本シリーズ最終戦9回に田中投手が登場した時のスタジアムの歓声	339	33.9%
3	大型台風などによる暴風雨の音	315	31.5%
4	群衆に呼びかけるDJボリスの声	297	29.7%
5	伊勢神宮と出雲大社の遷宮の儀式における荘厳な音(ね)	226	22.6%
6	大ヒットの銀行ドラマで、主人公を叱責するために机をたたく音	219	21.9%
7	ワールドシリーズで優勝を決めた瞬間のレッドソックス上原選手の雄たけび	152	15.2%
8	ロシア・ウラル地方での隕石爆発の音	120	12.0%
9	世界遺産に登録された富士山に殺到した登山客の喧騒	89	8.9%
10	サッカーワールドカップ出場を決定づけた本田選手PKゴールの瞬間	88	8.8%

●2014年心に残った音 全国 n=1,000 (複数回答)

		実数	比率
1	兵庫県議会議員の記者会見での号泣	542	54.2%
2	テレビアニメやアニメ映画の主題歌を歌う子どもたちの声	366	36.6%
3	大型台風などによる暴風雨の音	357	35.7%
4	全米オープンテニスなどで錦織選手へのスタジアムの応援と歓声	309	30.9%
5	ソチ五輪で日本選手のメダル獲得や活躍時の歓声	239	23.9%
6	ブラジルワールドカップの観客の歓声と落胆、悲鳴の声	187	18.7%
7	都議会のやじ問題で録音されたかすかな音声	174	17.4%
8	消費増税により増えたと感じる小銭の音	109	10.9%
9	デング熱で気になった蚊の羽音	79	7.9%
10	6月に悪天候で、東京に雹(ひょう)が降った時の音	61	6.1%